

# 令和5年度 農作物病虫害発生予察2月月報

令和6年(2024年)3月1日  
山口県病虫害防除所

## I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最高			最低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
2.1	6.8	4.4	2.4	10.0	9.7	0.3	3.5	0.1	3.4
2.2	5.2	4.8	0.4	11.2	10.2	1.0	0.1	0.3	△ 0.2
2.3	8.9	5.3	3.6	16.0	10.8	5.2	2.6	0.6	2.0
2.4	11.0	5.8	5.2	16.1	11.4	4.7	6.0	0.9	5.1
2.5	8.7	6.5	2.2	12.3	12.1	0.2	5.8	1.5	4.3
2.6	6.4	7.0	△ 0.6	11.0	12.7	△ 1.7	2.4	2.0	0.4
平均・計	7.8	5.6	2.2	12.8	11.2	1.6	3.4	0.9	2.5
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
2.1	56.5	11.6	44.9	5.8	20.2	△ 14.4			
2.2	0.5	11.9	△ 11.4	25.8	21.0	4.8			
2.3	3.0	14.0	△ 11.0	26.9	21.7	5.2			
2.4	52.0	15.9	36.1	28.5	22.5	6.0			
2.5	34.5	17.8	16.7	13.9	23.0	△ 9.1			
2.6	31.0	15.6	15.4	18.3	18.0	0.3			
平均・計	177.5	86.8	90.7	119.2	126.4	△ 7.2			

## II 作物の生育状況

イチゴ : 平年に比べて気温は高く推移しており、生育は概ね順調に推移している。かおり野では、2番果房収穫終盤となっており、第3果房も連続して出ていることから来月以降も出荷が続く見込み。

タマネギ : 平年に比べ気温は高めに推移しており、草丈、生葉数とも平年を大きく上回っている。

### III 病害虫の発生状況

#### 1 果樹

2024年2月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
果樹全般 カメムシ類	クサギカメムシの隙間トラップによる越冬量調査(10か所)では、1トラップ当たり96.4頭(平成23.3頭)で平成に比べ多かった。	県内全域	—

#### 2 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イチゴ (調査ほ場数:20) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0%(平成10.0%)、発病株率0.7%(平成1.1%)、発病葉率0.0%(平成0.3%)、発病果率0.1%(平成0.1%)で平成並みであった。	県内全域	少 10
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0%(平成14.9%)、発病株率3.7%(平成1.2%)、発病果率0.6%(平成0.4%)で平成に比べやや多かった。	県内全域	甚 5 少 20 計 25
菌核病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成0.5%)、発病株率0%(平成0.0%)で平成並みであった。	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0%(平成13.5%)、寄生株率7.6%(平成1.1%)で平成に比べ多かった。主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	多 5 少 35 計 40
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0%(平成44.0%)、寄生株率4.4%(平成14.9%)で平成に比べやや少なかった。主要種はナミハダニであった。	県内全域	少 30
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0%(平成24.8%)、寄生株率0.3%(平成4.3%)で平成に比べ少なかった。主要種はオンシツコナジラミであった。	県内全域	少 10
アザミウマ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0%(平成22.0%)、寄生花率2.2%(平成2.1%)で平成並みであった。主要種はヒラズハナアザミウマであった。	県内全域	多 10 中 10 少 30 計 50

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
タマネギ (調査ほ場数：28) べと病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率3.6%、発病株率0.1、また、1a当たり調査では、越年り病株の発生ほ場率7.1%、発病株数0.1であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.6%)、発病株率0% (平年0.4%)、また、1a当たり調査では、越年り病株の発生ほ場率17.9% (平年6.8%)、発病株数0.5 (平年1.5) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 6
白色疫病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率3.6%、発病株率0.1、また、1a当たり調査では、越年り病株の発生ほ場率3.6%、発病株数0.7であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率3.6% (平年3.9%)、発病株率0.3% (平年0.8%)、また、1a当たり調査では、発生ほ場率3.6% (平年6.8%)、発病株数1.8 (平年8.3) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 6
腐敗病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率3.6%、発病株率0.1、また、1a当たり調査では、越年り病株の発生ほ場率7.1%、発病株数0.2であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率3.6% (平年1.4%)、発病株率0.1% (平年0.0%)、また、1a当たり調査では、発生ほ場率10.7% (平年2.2%)、発病株数0.3 (平年0.0) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 6
ボトリチス属菌による葉枯れ症(白斑葉枯病)	中旬の巡回調査では、発生は認められなかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.4%)、発病株率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—
軟腐病、さび病、萎黄病	中旬の巡回調査では、発生は認められなかった。 下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—

お問い合わせ先

山口県農林総合技術センター(山口県病害虫防除所)

TEL (0835)28-1211(代)

E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp